

第6 新ビジョンにおける検討の視点

ビジョンでは、前述の「第3 京都市を取り巻く社会・経済状況」を踏まえ、「第4 京都市の現状」で示した“強み”を生かし、“弱み”を克服する重点戦略として、以下の7つの視点での検討を行った。

＜重点戦略の検討に当たっての視点＞

- 中小企業の成長支援
- 環境・エネルギー関連産業の振興
- 医療・介護・健康関連産業の振興
- 企業のグローバル展開への支援
- 高度人材^{*}を受け入れる基盤の整備
- 京都のソフトパワー^{*}を生かした新たな価値の創造
- 京都の資源を生かした産業支援環境の整備

※高度人材

世界で通用する専門的な知識や技術などを有する人材のことをいう。

※ソフトパワー

ここでは、京都の知恵や感性、文化価値など知的創造性を生み出す魅力をいう。